

平成 29 年度 第5回 政策調整会議 会議録①

◆開催日時:平成 29 年9月 27 日(水) 9:30～10:00

◆開催場所:第2委員会室

◆出席委員:大原副市長、根末副市長、樋口教育長、藤原市長公室長、藤浪企画調整部長、
大西総務部長

◆審議事項

・平成 30 年度予算編成方針について……………財政課
⇒承認

◆審議概要

『平成 30 年度予算編成方針について』

〈説明者〉西田財政課長、浅野調整主幹、松阪予算担当長

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈企画調整部長〉予算編成方針の冒頭に、国においては雇用・所得環境が大きく改善している旨が記載されているが、本市は国と同様の状況とは言えない。国の雇用等の状況を説明するなら、本市の状況も説明する必要があるのではないか。

〈大原副市長〉国の状況がそのまま本市の状況につながっているわけではない。また、『「改革」を断行する』など、全体的に極端な表現が多いように見受ける。生活保護統計の報告数値誤りによる交付税錯誤分の返還額は、予算編成方針に書くべきことなのか。

〈市長公室長〉交付税錯誤による返還については、予算編成方針に記載する必要はない。

〈予算担当長〉財政課としては、引き続き厳しい状況にあるということを発信したいと考え盛り込んだ。

〈教育長〉P. 2の1段落目の文章が長い。内容は問題ないが、読み手が理解しやすいように短文にわけて書けないか。

〈総務部長〉交付税錯誤による返還に係る記載は削除する。その他ご指摘いただいた点については、表現方法を修正する。

〈根末副市長〉指摘があった点を修正したうえで、各委員による内容の確認後、政策決定会議に付議することよろしいか。

【異議なし】

⇒本件、指摘があった点を修正して、各委員による内容の確認後、政策決定会議に付議する。

平成 29 年9月 21 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総務部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	平成 30 年度予算編成方針について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	平成 30 年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当
説明者	西田財政課長 浅野調整主幹 松阪
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	平成29年度 第5回会議
付議事項	平成30年度予算編成方針について

★取組の目的

対象	職員
どのような状態を目指す	平成30年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当

★総合計画上の位置付け

202020201	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(2)持続可能な財政運営が行われている
	目指す成果	②計画的に財政運営が行われている
	行政の役割	ア 中長期の視野に立ち、効果的・効率的な財源配分を行う

★現状と課題

平成30年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当
--

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費				計	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
				0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性				H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
有		無						

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	目標値				
						H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。